

校長室より

## 「二松から飛翔へ」

二松学舎大学附属高等学校  
校長 鵜飼敦之

## 部活動訪問（2） ～バドミントン部・テニス部編～

答案返却二日目の午後から外部施設で活動をしている部活動を訪問しました。九段校舎では十分な練習環境が確保できないため、公共施設や民間の会場をお借りして、技術力のアップやチーム力の向上に励んでいます。

## 【バドミントン部】

昼過ぎに学校を出て、九段下駅から都営新宿線で岩本町駅（秋葉原駅）を經由して京浜東北線で上中里駅に向かいました。駅から徒歩5分で目的の「北区立滝野川体育館」に到着、紅葉した銀杏が空の青をバックにキレイでした。移動時間は30分弱ほどで思っていたよりも近い場所にあることが分かりました。

体育館に入ると、すでにアリーナでバドミントン部の練習が始まっていました。会場は4面のコートがとれ、十分なスペースが確保されています。今年度、バドミントン部の部員は、29名（男子18名、女子11名）で、今日は20名の部員が汗を流していました。現在の目標は、年明け1月8日の冬季ブロック大会でシングルス一つとダブルス二つでチームを編成し、春と夏のリベンジを果たすべく、出場候補の男子部員がコートで激しいラリーの応酬をしていました。本日は、顧問の小門先生が球（シャトル）出しをして、直接コートに入って指導をしていました。「今年の春の大会では、もう少しのところで都ベスト16に届くところでしたが、惜しくも敗退。地味ですが、結構頑張っているんです。」と話されていました。滝野川体育館での練習の後、個人開放をしている別の体育館でさらに個人練習をするハングリーな男子もいるようです。

未経験者でも大会出場メンバーに選出されるなど、上達の程度が早く、他の部員も来春の関東予選に向けてレベルアップ中。虎視眈々とメンバー入りを目指して取り組んでいます。

バドミントン部では週に3日ほど、港区や千代田区のスポーツセンターを利用して活動をしています。



## 【テニス部】

次に、テニス部の練習会場に向かいました。秋葉原駅まで戻り、都営新宿線で岩本町駅から船堀駅まで17分。駅から徒歩5分ほどで、江戸川区の「松江テニスコート」に到着。男子3名、女子4名が出迎えてくれました。こちらも学校からだとは30分ほどで行けそうです。

本日の練習は16時から18時まで。答案返却が終わった後、一旦自宅に戻り、練習着に着替えて再集合してからの参加のようです。コートは2面で、男女で別れて練習をしていました。17時頃には日も暮れて、ナイター照明の下で練習に臨んでいます。この時間になると、手がかじかむような厳しい寒さです。

今月末に私学大会の個人戦（シングルス）が予定されており、10名の選手が出場の予定です。今日は技術指導をしてくださる車田先生と大学生コーチが不在で、自分たちでメニューを考えて練習に取り組んでいました。女子は古館先生にアドバイスを受け、ベースラインでの打ち合いなど大会に向けたシングルス対策に余念がありませんでした。

テニス部では月・火・木・金の週4日を基本に江戸川区の外部コートを利用して活動しています。

